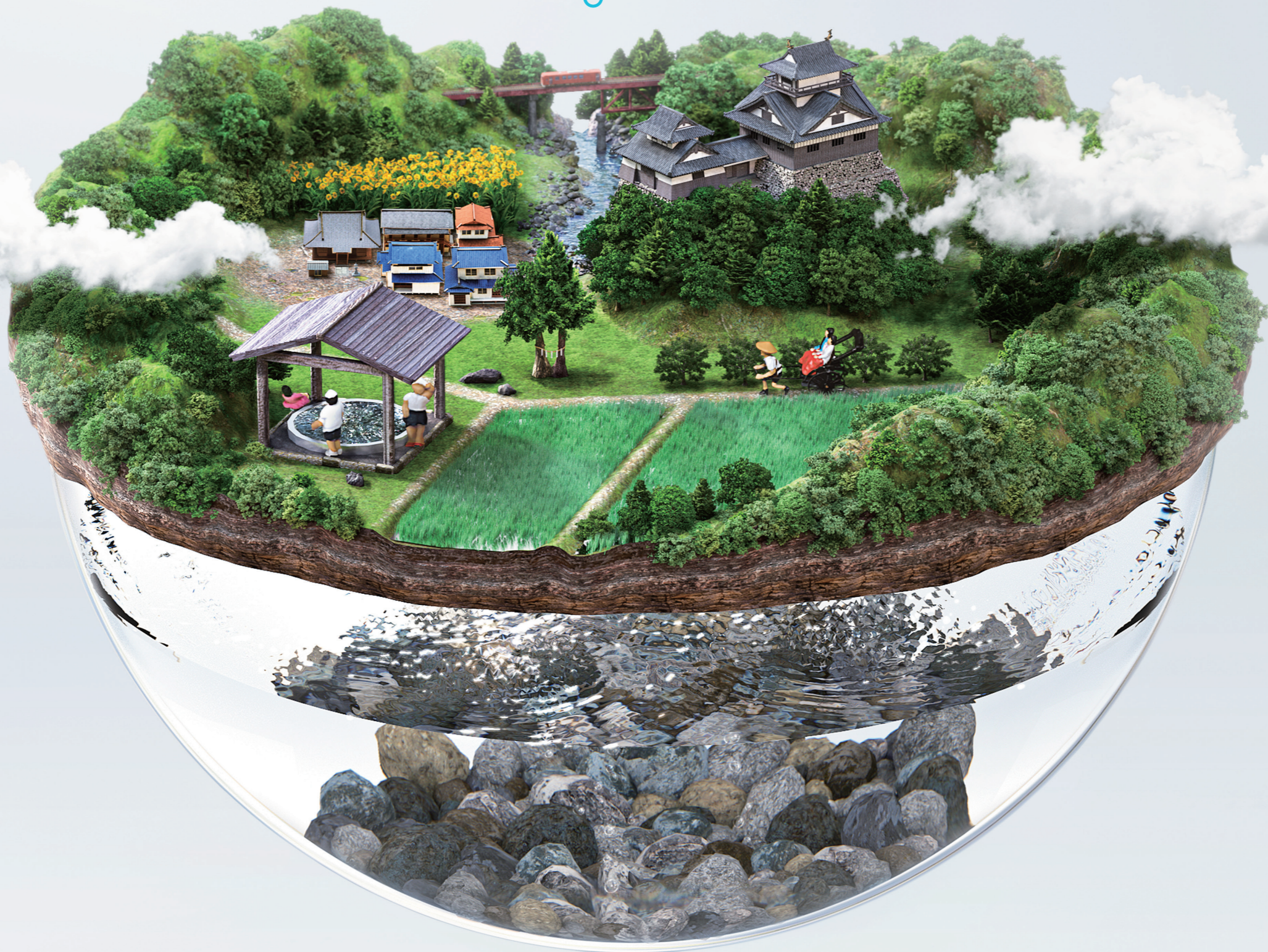




「水の日」なんか、  
 いらぬ世界にしよう。



福井県大野市。  
 類い稀なる水循環を蘇らせた  
 湧水のまちから世界へ、  
 「水への恩返し」。

水は、永遠ではないことを、  
 このまちは知っています。  
 四十年前、まちを襲った深刻な井戸枯れ。  
 市民一体となった保全活動で  
 ふたたび地下水を取り戻したとき、  
 まちに湧いてきたのは、  
 水への感謝でした。

いまこのまちは、子どもたちに  
 水の大切さを伝える  
 副読本「水の本」の展開をはじめ、  
 水循環や湧水文化を題材にした  
 大学・企業との協働研究、

さらには、安全な水に恵まれていない国・  
 東ティモールへの水支援など、  
 つながり、分かちあい、助けあうことで、  
 世界の水の未来を拓くまちへと  
 歩んでいます。

湧水を守り、育むことが、  
 暮らしとともにある福井県大野市から、  
 だれもが、いつでも  
 水のありがたさを感じられる世界へ。  
 水の箱庭のような、小さなまちの  
 「水への恩返し」はつづきます。

いつか「水の日」が必要なくなる日まで。



大野から世界へ、水への恩返し。きょう、8月1日は「水の日」です。

福井県大野市